

大潟村バイオマス産業都市構想の概要

秋田県大潟村、人口 約0.3万人、面積 約1.7万ha

構想の概要

大潟村の基幹産業である水田農業から生じるバイオマスを活用して循環型社会の形成に取り組み、商工業（農業関連産業）の振興と新産業・仕事・雇用の創出や、「しなやかで強く、競争力のある農業」を確立し、産業振興等の実現を目指す。

1. 将来像

令和元年度には2050（令和32）年の社会を考えた、「大潟村脱炭素型地域づくりモデル形成事業—自然エネルギー100%の村づくりへの挑戦—」を実施し、太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、バイオガス発電、もみ殻熱利用、ゼロエネルギーハウス（ZEH）の建設等、を含めた、自然エネルギー100%の村づくりを目指す。

2. 事業化プロジェクト

村内の資源の有効活用、資源循環、地球温暖化防止対策の観点から、さらに効率よく、より高度に使用。

- ① もみ殻燐炭・地域熱供給事業
- ② もみ殻燐炭・培養土生産事業
- ③ 食品廃棄物バイオガス事業
- ④ 稲わらバイオガス事業

3. 目標（10年後）

- 廃棄物系バイオマス
 - ・食品系廃棄物
 - バイオガスとしての利用を推進し、利用量100%を目指す。
- その他のバイオマス
 - ・稲わら
 - バイオガスとしての利用を推進し、利用量100%を目指す。
 - ・もみ殻
 - 燐炭、培養土生産、地域熱供給の利用を推進し、利用量100%を目指す。

4. 地域波及効果

- 地域経済効果 95.48億円
- 新規雇用創出効果 新規雇用者数22人
- その他の波及効果
 - ・もみ殻燐炭培養土の生産 培養土生産量 3,000t
 - ・地球温暖化防止、低炭素社会の構築 14.85億円
 - ・廃棄物の減量（生ごみ） 7,200t/年
 - ・地域エネルギーの自給率 電気、3% 熱、9%

5. 実施体制

事業化プロジェクトの推進体制のあり方として、既設の「大潟村自然エネルギー地産地消推進協議会」を中核とするコンソーシアムとして、構想推進体制を構築。

全体進捗管理、各種調整、広報やホームページ等を通じた情報発信、各プロジェクト実施の検討や進捗管理については、大潟村環境エネルギー室が中心となって管理。

6. その他

「大潟村総合村づくり計画」を最上位計画として、個別の計画や秋田県における種々の計画等との連携・整合を図りながら、バイオマス産業都市の実現を目指す。

- ・大潟村総合村づくり計画
- ・大潟村環境基本計画
- ・大潟村農業チャレンジプラン
- ・大潟村自然エネルギーの導入及び省エネルギーの促進に関する実施計画

大潟村バイオマス産業都市構想の活用イメージ

水田農業の村だからこそそのバイオマス（もみ殻・稲わら）を
10年後に現在よりも効率よく、高度に100%利活用

